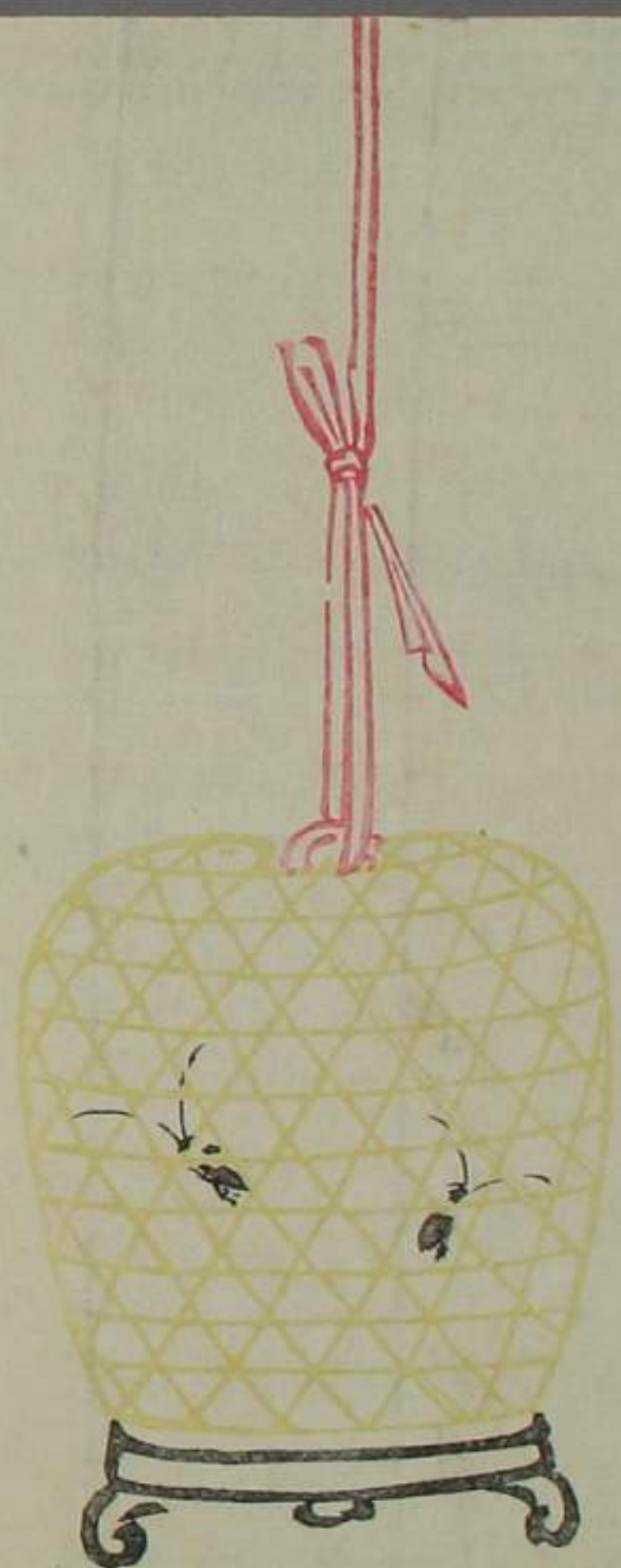


曾源舟



旅 舞

旅 舞

旅 舞

共石

いづれも中櫃と書きし西の門

百耳

春竹の白くもたれぬ松の風

酒友

定日の氣色はまはれぬ角かぶ

梅曉

わが舟へ行儀もあらぬ酔ひし

扇舞

后可ぶくももさる月の中

三石

風をいへ道にあらぬ花指捷

華在

橋は舟の草を落しし花明か

兔文

わが舟の毎くもらぬ松の風

北雁

波香の甲子鹿行を懐きし如

馬佛

え乃くくくく

いづれもいづれもいづれも

馬耳

寛政二の秋

カ

岸川連

